

No. 3021

2022-2023年度

会 長 井上 修平  
幹 事 上野山栄作  
R広報委員長 中村 吉伸



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2022-2023年度クラブ方針

「行動を起こして徳を積む」



本日のプログラム

令和4年11月10日 第3022回

- ・外部卓話：  
「 」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年11月17日 第3023回

- ・外部卓話：西岡 摩帆氏（財団学友）  
「イギリスのロータリークラブでの思い出」
- ・ソング：「日も風も星も」

前回の報告（第3021回例会）

開催日 令和4年10月27日(木)

点 鐘 [井上会長]

ビジターの紹介

[親睦活動小委員会 辻委員長]

ビジター: 凌 文彪君 (米山奨学生)

米山奨学金授与



井上会長より  
凌文彪君に  
10月分の米山  
奨学金が授与  
されました。

ニコニコ箱の報告 [橋爪(誠)SAA]

井上君: 凌君、本日はよろしくお願いします。  
木本君: 凌文彪君、本日の卓話宜しくお願いします。  
石垣君: 凌文彪君、本日の卓話楽しみにしています。  
上野山(捷)君: 凌文彪様、本日の卓話楽しみにしています。  
脇村君: 凌文彪君、本日の卓話よろしくお願いします。  
中村君: 凌君、卓話よろしくお願いします。コロナまた増えています。インフルエンザ同時流行がありそうです。皆様、ワクチン接種は是非行ってください。  
岩本君: 凌君、本日は卓話有難う。  
松村君: 凌君、お話し楽しみにしています。  
中元君: 凌君、本日の卓話楽しみです。よろしくお願いいたします。

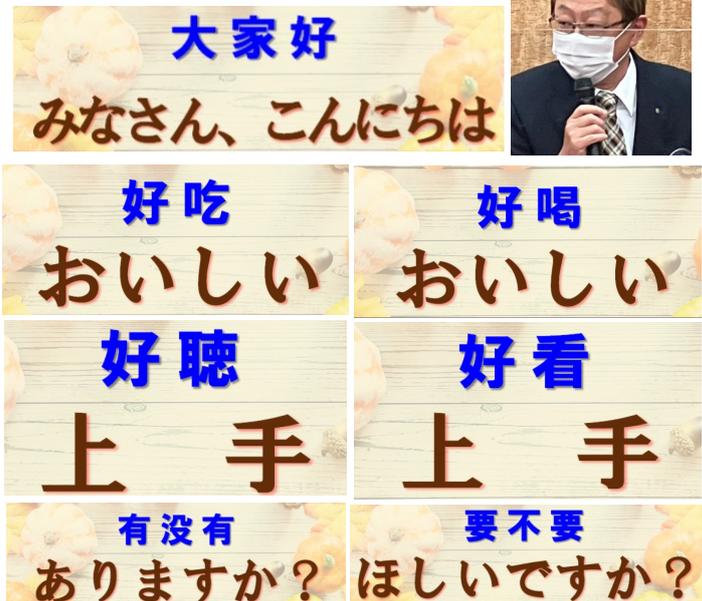
出席報告

[例会運営小委員会 上野山(捷)委員長]

本日の会員数26名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員16名  
(出席規定免除会員5名)

会長の時間 [井上会長]

「中国語」





**幹事報告**

〔木本副会長〕

1. 2023年メルボルン国際大会の件  
5月28日～(オーストラリア)  
旅行社より参加旅行の募集案内が届いています。
2. 岩出RCクラブから週報が届いています【回覧します】
3. 第5回定例理事会のご案内  
11月10日(木)例会終了後  
理事・役員の皆様、ご出席よろしくお願いたします。

**委員会報告**

- ※R財団.米山記念奨学委員会〔岩本副委員長〕  
松村秀一君より特別寄付をいただきました。多額のご献金ありがとうございます。
- ※指名委員会〔松村直前会長〕  
例会修了後、第1回指名委員会を開催いたします。ご出席よろしくお願いたします。

**卓話**



米山奨学生  
凌 文彪 君

**「五つの小鍋」**

こんにちは！お久しぶりです。  
本日の卓話をさせて頂きリョウブンヒョウです。  
私の卓話のタイトルは「五つの小鍋」です。このタイトルの由来はある本からです。その本は八篇の短編小説から構成され、「八つの小鍋」といいます。私が卓話のタイトルに悩んだ時に、急にこの本のことを思い出しました。今回、私の卓話には五つのパートがありまして、各パートの

内容はお鍋のように様々なため、タイトルをお鍋にするのも相応しいではないかと考えて、このタイトルにさせていただきました。

卓話の内容にも結構悩んでいました。色々考えた結果、やはり皆様に私の自分らしさを伝えられたらいいなと思ひまして卓話の内容を用意していきました。

目次はこちらの通りです。

- ・自己紹介
- ・留学するまでのこと
- ・日本でのこと
- ・ロータリーとのご縁
- ・これから

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私の出身は中国の福建省です。北には山、南には海がありまして、とても自然の豊かな場所です。詳しく説明すると話が長くなりますので、今回は特に有名なものを二つ選んでご紹介させていただきます。まず、一つ目は世界遺産の福建土楼です。12世紀から20世紀にかけて建てられたものがほとんどです。土楼は通常、長方形か円形をしており、その土の壁は180センチ以上の厚さがあります。この土でできた建物は通常1つの入口しか持たず、その入口も、鉄板で頑丈に補強された厚さ10センチから13センチの板で守られています。建物の最上階には露天なのですが、盗賊を防御するため、狭くしていることが多いです。もう一つの名物はお茶です。多分、皆さんが普段コンビニで買ってきたウーロン茶の産地を見ると、福建省と書いてあるものが殆どなんじゃないかと思ひます。

また、福建省には五種類の方言があります。私が住んでいるところは莆田方言がメインの言葉になります。莆田(ほでん)の方言は標準語とは違いすぎて、別国の言葉と言っても過言ではありません。どのぐらい違うと言ひますと、青森の方言と同じレベルです。こういう中国人にも分かりづらい言葉なのですが、それを使って行ひ芝居も有名です。

続いて私の趣味についてです。趣味はたくさんありますが、全部アマチュアとしてやっています。ギターは独学してから5年が経ちました。日本語の曲と中国語の曲を何曲かを引くことができます。撮影にも興味があります。今までデジタルカメラをいじってきましたが、最近フィルムカメラにはまっています。デジタルの場合は、いつもシャッターを押してしまうような傾向があります。気を付けば、いらぬ写真ばかりをとってしまいます。フィルムの方は、枚数が決められているため、ちゃんと考えてから撮るといふ練習ができます。他に、バイクやクルマなどの乗り物にも興味があります。

日本にきてから、交通機関の便利さによって電車旅も好きになりました。今まで青春18切符を使って3回ぐらいの旅をしてきました。一回目は卒業旅行の時に、大阪から福岡まで一週間ぐらいかけていきました。帰り道は日本海側の山陰本線に乗って十日ぐらいかけて大阪に戻ってきました。二回目は雪を見るために北陸に向かひました、私の故郷は南の町のため、全然雪降りませんでした。日本に来てから初めて雪を見ることができました。3回目は本州の中部を回っていました。電車旅はいつもでかいリュック一つがすべてでした。

続いて私の学歴についてです。私は2016の9月から2019年の3月まで、中国の福州大学の機械工学で車を専攻でした。そして、大学のダブルディグリープロジェクトを通して大阪府立大学工学部の機械工学専攻に編入してきました。大阪府立大学を卒業してからはそのまま大学院に進学し、今は工学研究科のシステム制御学研究グループに所属しています。

続いて、留学するまでのことについてです。先ほども言ったと思いますが、私は日本語学校には行かずに中国大学から日本の大学に編入してきました。こちらの写真は福州大学の図書館の写真です。前に池、後ろには山があります。私の一番お気に入りの場所でした。大学時代は結構通っていました。

福州大学にいたときはクルマの専攻をしていました。私の専攻では、毎年、先生と学生が協力して一台のフォーミュラカーを作り出して試合に出ます。こちらの写真は私のその年に作られたものです。友達の話によると、最近では電気自動車の影響で、電気フォーミュラカーを作り始めました。

続いて、中国の大学生活についてです。福州大学に通う人達は殆ど寮に住んでおり、4人の部屋で集団生活を送っています。多少プライベートがないですが、皆と一緒にパーティーを参加したり、ゲームをしたりするのが楽しかったです。こちらの写真はクリスマスイブの写真です。小道具でサンタさんの格好を飾って、友人や恋人にりんごを配り回ります。日本に来てからずっと一人暮らしをしてきました。たまに福州大学の集団生活が恋しくなることもあります。

次に、日本でのことについてです。日本に来てから、最初の二年間は大阪府立大学にあるI-wingという留学生寮で過ごしました。その時、コロナはまだ流行っていなくて、I-wingではほぼ満員の状態でとても賑やかでした。色々な出身の人々が集まるところだからこそ、面白くて新鮮な話題が足りないことなんか一度もありませんでした。もちろん、雑談だけではなく、パーティーも週に一回ぐらいの頻度で行っています。皆一人一人自分の故郷の手料理を持って来て一緒に食べたり、紹介したりしていました。おかげで、お店までいなくても複数の国の料理を味わうことができました。カラオケに行く時も、複数の言語が混ぜていて嬉しい限りでした。こちらの写真はお正月のパーティーでした。その後、皆で一緒に初詣にも行きました。私にとって、コロナのないI-wingは、つねにエネルギーとダイバーシティに満ち溢れているカラフルな場所でした。

続いて、私の研究について簡単に説明します。研究対象はこの写真に示すような人間の手みたいに動けるマニピュレータです。研究テーマは障害物環境下におけるマニピュレータの制御です。取り組んでいることが二つあります。一つ目は障害物を回避した経路の生成

です。二つ目は経路を追従するためのマニピュレータの制御です。

研究目的は労働力不足の社会問題の解決です。日本だけではなく、世界中の国が抱えている課題である少子化や高齢化などがますます深刻となっています。マニピュレータの開発は労働力不足社会に貢献できると言わ

れています。

研究内容の一部に関してはこちらの動画をご覧ください。

次に、ロータリークラブとのご縁についてです。

初めてロータリーを知ったのは留学生寮に住んだときの事でした。その寮にはロータリーが寄付したマンガと自転車置いてあります。そして、研究室に入ってから先輩もロータリーの奨学金のため、色々詳しい話を聞かせていただきました。先輩の話にロータリーの魅力を感じていますため申し込んでみました。そして、合格して今ここにいます。

ロータリーの奨学生になってから半年が経ちました。色々な人と知り合い、イベントも参加させて頂き、貴重な経験をたくさん積み増した。イベントに関しては、一番印象に残るのがライラセミナーでした。私はもともとアウトドアに興味がありまして。アウトドアを満喫するとともに沢山の友達もできました。一番感動したのはサバイバルのプロと話ができたことです。新聞紙の活用やビニール袋と水だけで火を起こせるとか、たくさん学ばせていただきました。そして、いつもお世話になっております。有田クラブのみなさんにも感謝の気持ちがいっぱいです。初めて、自分のクラブが有田と知った時に、正直に言いますと、ちょっと微妙な気持ちでした。なぜかといいますと、私の家から片道で2時間以上かかりますから。でも、初対面の私に対して、初めての例会で色々丁寧説明してくださった皆さんのことがすぐ好きになります。そして、例会の終わりに菅原さんもクルマで私を連れて有田を回っていました。右上の写真はある山から眺めた風景です。右下は有田の野球場です。日本に来てから初めて入った野球場です。こうして、色々回って、有田というところは私の故郷と似ていると気づきました。

今回はこの場を借りて、もう一度ロータリーにたいする感謝を申し上げたいと思います。ロータリーの奨学生になったことで、バイトの代わりに学校や就職活動に専念することができました。おかげさまで、いつも行きたかった学会にも行くことができました。就職活動も無事に終了しました。結果として本田技研工業株式会社とクボタの内定をいただきました。私はクルマを専攻した経歴がありますので、色々考えて本田技研工業株式会社に入ることを決めました。皆さんにご報告させていただきます。本当にいつもありがとうございます。

最後に、これからについてです。

これからは本田技研工業株式会社で二輪車のエンジニアを目指したいと考えています。ホンダで何かをしたいといいますと、この写真に示すような倒れないバイクの開発に力になれたらいいなと思います。

以上、私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

